

1 審議会名	上田城南地域協議会
2 日時	令和2年1月16日 午前10時00分から午後11時45分まで
3 会場	城南公民館 多目的ホール
4 出席者	相田委員、井出委員、小野澤委員、小林委員、関委員、竹内委員、田玉委員、中澤委員、中村恵美子委員、根橋委員、羽田委員、堀内委員、増澤委員、宮澤委員、柳澤委員、矢野委員、若林委員、渡辺委員
5 市側出席者	【事務局】村山城南地域振興政策幹、内藤地域内分権推進担当係長、西澤地域担当主査、片山地域内分権推進担当主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和2年1月27日

協 議 事 項 等

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

- (1) 第二次上田市総合計画「地域の特性と発展の方向性」の見直しについて
各グループに分かれて協議

【第一部会】

②「上田道と川の駅」を活用した地域振興の推進

地域ブランドとなる農水産物を生かした商品の販路拡大と⑥で協議している地域の土壌に適した農産物の発掘とブランド化と重複している。併せて考えるべきではないか。

②の場合のみで考えると、道と川の駅で地域のブランドとなるような農作物を発掘して、独自産業で商品化して拡大するのはどうか。

③人や自然にやさしい交通機能の整備

「地域内外を円滑に移動できるような主要な生活道路の整備」と「幹線道路の歩道整備とだれもが安心して移動できる道路環境づくり」を一本化して、「幹線道路の歩道整備とだれもが安心して移動できる主要な生活道路の整備と道路環境づくりの推進」としたらどうか。

幹線道路の整備について、特に川辺町は自転車が車道を走る。狭い道路を自転車と自動車では危険であるので、整備をお願いしたい。

全体的なところで「上田道と川の駅は広域的な地域住民の暮らしの安全安心に資する防犯防災拠点として、ヘリポートと防災備蓄庫を設置されている」を地域の特性に項目としていれたらどうか。

【第二部会】

④高齢者や障がい者を支える地域包括ケアシステム構築と保健福祉環境の整備

台風19号で支え合いマップが十分ではない自治会が多くあった。高齢者、障がい者のことを考えると、災害時だけでなく、日ごろから利用できる災害マップであれば良いと思う。

⑤地域で子供を育てるまちづくり

公民館を中心とした子育てグループの育成と児童の学習場所や低年齢の預かり保育の充実を希望する。

【第三部会】

⑥自然との共生を目指す里山の再生と農地の保全

台風19号で被害を受け、千曲川の様子が一転してしまった。保全整備も必要だが、自然環境を取り戻すということが優先ではないか。国の管轄になるので、国に関して維持管理を強く要請する必要があるのではないか。

地域の土壌に適した農作物の発掘とブランド化について、城南地域としてのブランド化は難しいのではないか。土地の有効利用に力を入れたら良いのではないか。

⑦歴史的・地域的資源の保全と活用

城南地域の各自治会で自治会誌が出来ているところが多い。それを地域学習や教育現場で活用して勉強できるような支援も必要ではないか。

地域の特性4「生活利便性が高く住宅化が進み、人口は増加傾向」について、空家と荒休耕農地が増加している。そのような文言をいれたらどうか。

(事務局) ⑥地域の土壌に適した農作物の発掘とブランド化は第三部会としては削除でよろしいか。第一部会で意見があったがいかがか。

(委員) 城南地域ブランドとしての農産物はあるのか話し合ったが、みどり大根やきゃべつ、ねぎがあるが、特に主だったものはない。道と川の駅の直売に出している農家もあるが、農耕地はだんだん少なくなってきている。

(事務局) 道と川の駅で農産物を販売することは一定の効果があり良いことだと思うので、残すというので良いか。

(委員) 道の駅に出している農家もそれほどたくさん出しているわけではなく、高齢化もありブランド化は難しい。

(委員) ブランド化を削除してはいかがか。当時はブランド化ということで進めたが現状は難しい。

(委員) 塩田は大豆。東御はワイン用のブドウ、クルミ。丸子はワイナリーの本格化。城南地域はリンゴ農家も多いがブランド化までは難しい。発掘は必要とは思いますが、ブランド化は削除の方がよいのではないか。

(委員) 各項目、5年後を見据えたものであり現実になるとは限らない。この辺りではねぎや花をつくりたいという人もいる。発展的なことを考え、残しても良いかと思う。

(委員) 中之条では白菜の販売もしていた。ブランド化の一つの働きなのかなと思う。道と川の駅の車の立ち寄る台数もだいぶ増え、集客力が出ている。観光バスも入っている。特色があれば良いかなと思う。

(委員) 発展性があれば、削除しなくてもよいのではないかな。

(事務局) 城南ブランドという現状は難しいところもあるが、残すということによろしいかな。

(会長) 全体を通して直したほうが良いところの意見があればお願いしたい。

- ・上田原古戦場跡、過去の歴史を子どもたちに説明して教えていくことは大切なことだと思う。
- ・地域の歴史を語り継いで伝承し、ふるさとへの愛着が湧くことが大切である。

5 その他

わがまち魅力アップ応援事業について

(事務局) 新規事業の募集は令和元年度で終了し、来年度は継続事業のみになる。当該事業は新規申請時に事業内容等審議いただいているため、継続事業については従来通り事務局審査とさせていただいてよろしいかな。また、継続事業に問題がなければ審査結果の報告については地域協議会を開催をしての報告は控えさせていただきこうと思うがいかがかな。

(委員) 異議なし

- ・次回の開催予定

日時 2月20日(木) 午前10時から

場所 城南公民館 多目的ホール

6 閉会